

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.06.No262

6月号

目次

全道青年委員会連絡会議	1
新入会員紹介	3
「建築士の日」支部事業	4
実行委員会報告	6
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

『建築士にとって“より良い”を目指す』 全道青年委員会連絡会議を振り返って

青年委員長 朝倉友和 (函館支部)



毎年3月に連絡会議が行われる。まるで我々を冬眠から目覚めさせるお告げのように。



連絡会議風景

今年は、平成31年3月30日に平成最後の連絡会議が開催され、全道各地より68名の青年委員が集結しました。

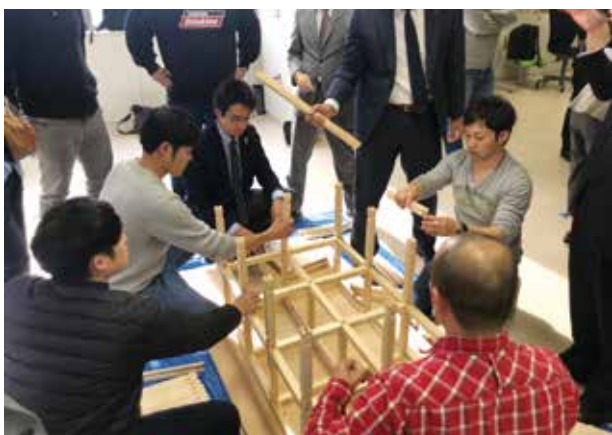
連絡会議は私にとって大きな意味をもつ会議です。昨年度の報告、今年度の活動予定などを含めた所信表明などを皆さんが各支部に持ち帰り伝達してもらう大切な役割があります。そして、全道の青年委員がひとつの目標に向かって一致団結できるかどうかの鍵を握る会議であります。昨年は本部青年委員のメンバーがほぼ総入れ替えとなって初めての事業でした。当初は自分が委員長としてまとめ上げられるのか不安でしたが、いざ始動してみると頼もしいメンバー達に助けられ、今こうして無事に2年目を迎えることができました。このメンバーでの任期も今年で最後となるので、集大成の年としたいところです。昨年より『建築士にとって“より良い”を目指す』をテーマに挙げて2年目。再度確認しますが、青年委員会の活動は三つの活動方針を軸にしています。『地域貢献』、『仲間作り』、『スキルアップ』の三本柱です。建築士会に入会することによって、建築士にとってより良いと感じ取ることが出来れば、入会の意味が明確になり、入会希望者が増員し、さらに仲間を増やすことができます。今年も皆さんに“より良い”を実感してもらえらるような活動を目指していきます。

昨年の事業を振り返ると悩みました。昨年の事業は、さらに前年の予算と事業計画に沿って活動しなければいけなく、実際には新しいことは何も出来ないなど感じました。そんな中でも少しでも今出来ることをやろうと思い、昨年の連絡会議では三本柱の一つ『スキルアップ』を目的に、会員にとっての“より良い”を実現するべく講演などを行いました。メイドインJapanの決して大きくないが素晴らしい技術をもっているクロンタイルメーカーや地域木材の利用促進団体「くつろ木の会」様に講演して頂き、新技術の習得を行いました。

今年の連絡会議では、札幌支部が取り組んでいる木製構造フレーム模型（構造組木）を使用した構造セミナーを行いました。札幌支部青年委員会で構造設計事務所所属でもある林甲多氏に講義をして頂き、その後、グループワークで3階建ての組木を行いました。最後は人工の地震を起し、倒壊するまでの時間を競い合いました。非常に楽しく盛り上がりながら『スキルアップ』ができたのではないかと思っております。



林甲多講師による構造セミナー



3階建て組木制作中

今年の新たな取り組みを発表しました

それは、昨年9月6日北海道胆振東部地震で最大震度7を観測した厚真町へのボランティア活動です。これは賛否両論あるだろうと思います。厚真町だけなのか？安平町やむかわ町もあるじゃないかと。知人の紹介で厚真町役場の方とアポイントを取り、ヒヤリングに行きました。役場に入ると慌ただしく、忙しそうに働いている職員がほとんどでした。役場ではボランティアの幹



厚真町仮設住宅現調



厚真町にて打合せ

旋は出来ないなど丁寧に教えて頂き、ボランティア関係は役場の横にある社会福祉協議会を訪ねてほしいと言われ訪問。そこでは、ビックリするぐらいの歓迎ぶりでした。さらに驚いたのは現在ボランティア活動をしているのは道外の方々ばかりだったということです。正直、私は思いました。道民である私は、道民が困っているのに

何も手伝わなくても良いのだろうか。また、現地は仮設住宅が建設されて入居が進み一安心かと思っていましたが、実際は違いました。寒さ、暑さ、結露なども住んでいた家とは違うし、とにかく狭い。神棚や仏壇もどこに配置すれば良いのか。狭いのでせめて棚でもあればなど、メディアを通してでは知ることのなかった現地の生の声を聴いてきました。これこそ、様々な建築業種の団体である建築士会の出番だと思いました。私のように何もしなくても良いのだろうかと思っている青年委員もいるはずだし、個人では、なかなかボランティアに参加する勇気がない。その他にも建築士会の内部事情も考えました。単純にボランティア活動を今年度の事業に追加するとすると、今年は全国大会が北海道であるので会員の負担が増えてしまう。また、材料費などの予算もない。そこで、本部青年委員会で相談したところ、小樽に決定していた青年建築士の集いを厚真町に変更すれば、それらの弊害がなくなるのではないかと意見もあり今回こうして実現することができました。そんな中、先述の厚真町だけで良いのかとの話も出ましたが、他の町も同時に行うことは金銭的にも、人材的にも到底できません。まずは我々が出来ることをやろうと。この事業は、先述の三本柱のうちの一つ『地域貢献』、『仲間作り』で、我々建築士にとって“より良い”を追求できる事業と確信しています。さらに被災した子供たちを元気づけるために【マイ箸作り】も行います。この事業が青年委員の誇りになれば幸いです。青年建築士の集いは、5月11日(土)開催予定です。この記事が発刊されたころには、事業が終わっているはず。成功しているでしょうか。そう思うとドキドキしますね(笑)。



全国大会北海道大会 in 函館PR



懇親会での集合写真

新入会員紹介 ようこそ建築士会へ

一緒に楽しんで、学んで、
そして発信しましょう！

建築士会に入会して

小林 悠 (釧路支部)



■勤務先・仕事内容：株式会社 斉藤謙一設計事務所／主に意匠設計 ■入会年月日：平成30年2月
■建築士会での活動：主に釧路支部女性委員会の事業に参加 ■建築士会入会のきっかけ：女性委員会の方からの勧誘

自己PR

建築士会には以前から勧誘されていましたが、最初は建築士に合格してからと伝えつつ荷が重そうなので逃げていました。いざ入会してみると、他の会員の方と雑談で盛り上がりながらも、それぞれ経験した仕事の話や知識が豊富でとても勉強になります。

業務では公共建築が多いので様々な用途の建物に関わる機会がありますが、自分の考えが至らない点が多くいつも

先輩方が指導して下さいます。早く一人前になれるよう成長していきたいと考えています。

趣味と言えるほどではないですが、社会人になってからは日本酒に興味が出てきました。旅行の時は地元のお酒を買って荷物を重くしています。

事業にははできるだけ参加し、経験や知識を得ながら様々な方と交流していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



福司の蔵開きにて

建築士会に入会して

小倉 雅美 (札幌支部)



■勤務先・仕事内容：おぐら設計室／意匠設計 ■入会年月日：平成30年4月
■建築士会での活動：まちづくり委員会 ■建築士会入会のきっかけ：新しい情報や、人と出会うため

自己PR

はじめまして。昨年春に入会した小倉雅美です。札幌市内にて、自宅兼事務所という環境にて一人で設計事務所を営んでおります。責任を持って仕事に取り組むためにも、新しい情報には接していないといけな思ひながら、一人の環境ではなかなか思うようにはいきません。そこで遅まきながら建築士会に参加して、いろいろな情報に触

れたり、たくさんの方とお会いしたりして、自分の視野を広げていきたいと思ったのが入会のきっかけです。まちづくり委員会にも参加させていただき、経験も知識も豊富な方々に囲まれ、知的好奇心を大いに刺激されております。

建築の仕事とは人の生活と切っても切れない関係にあります。つまり自分の半径3mから始まる仕事ですが、それが建物になり、街をつくっていく。

その責任とワクワクの両方を味わえる素晴らしい仕事だと思っております。ということで、まずは自分の半径3mを充実させなければ！という言い訳をしながら、とうとう念願だったフォルディングカヌーを入手しました。今年から、あちこちの湖や川に出かけて楽しみたいと思っています。どこかでお会いしましたら、気軽にお声がけください。よろしく願いいたします。

よろしくお願ひ致します

吉田 幹 (小樽支部)



■勤務先・仕事内容：西條産業 株式会社／建築資材の販売営業 ■入会年月日：平成31年1月
■建築士会での活動：小樽雪あかりの路 (手宮線A会場のオブジェ制作維持管理、お休み処の運営)、建築士の日のイベント (市内幼稚園にて園児と一緒にベンチの塗装・寄贈)、サマーパーティー開催
■建築士会入会のきっかけ：小樽支部委員長のバックアップとして

自己PR

本年より建築士会に入会しました、吉田幹(よしだもと)と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。私は地元小樽を中心とし札幌や後志方面で建築資材の販売営業をしております。

早いもので高校卒業後、今の会社に入社してもう14年になります。

建築士会に正式に入会したのは今年ですが、10年以上前から小樽支部での活動のお手伝いをさせて頂いており、昨年からは小樽支部の青年副委員長を務めております。

支部の活動としましては、今年で21回目となりました「小樽雪あかりの路」での、手宮線A会場の設営、オブジェ制作維持管理、お休み処の運営を開催期間の10日間行いました。

また、「建築士の日のイベント」として毎年市内の幼稚園にて子供たちと一緒に木製のベンチの塗装をし、寄贈しております。

昨年は胆振東部地震が発生し身の回りにも少なからず地震の影響がありま

した。震度4でも恐ろしく、被害にあわれた方々へは心よりお悔やみお見舞い申し上げます。

小樽支部では、地震発生の前よりDOはぐ(HUG・避難所運営ゲーム)の研修会を検討しており12月8日に行いました。災害発生時には色々な場面があり、その中で判断しなければならない事や選択しなければならぬ事など多々あり考えさせられる研修となりました。地震発生前に1度研修出来ていればと感じました。

今年は北海道建築士会の活動で5月11日に青年建築士の集い(厚真大会)として厚真町において今もなお仮設住宅で生活されている市民の方々の不便を少しでも解消するため、各世帯のステップ・手摺設置や室内の棚の設置、神棚の設置等を行う予定となっております(執筆時)。

最後になりますが、建築士会の活動は仕事以外で多くの会社の方と交流、情報交換が出来る貴重な場であり大切な事だと感じておりますのでこれからも積極的に参加して参りたいと思います。



建築士の日のイベント



サマーパーティー2018



雪あかり屋台2019

7月1日は建築士の日

今年も各支部で様々な事業を企画しています。ぜひ、他支部のイベント、のぞいてみてはいかがでしょうか。

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
札幌	7月1日(月) 18:30~	第26回建築士祭り ・チケット販売予定数 1,200人分(例年 600~700人来場) ・チケット 1枚 2,500円(ビール・ソフトドリンク飲み放題、軽食付) ・その他お酒、イベントゲームコーナー、別途チケット販売	ホテル札幌ガーデンパレス
	7月6日(土) 9:30~	見学会「江別の景観バスツアー(江別市編)」	江別市
千歳	7月中旬	イベント 出店 ・建築士会のPR及び街の活性化に寄与することを目的とし、市内で開催されるイベントに建築士会千歳支部として屋台を出店	千歳市
恵庭	8月中旬 10:00~ 20:00	第14回「YEGフェスティバル」出店(主催:恵庭商工会議所青年部) ・建築士会のPRを目的に恵庭支部青年部が主体となって「えにわ焼き鳥店」を出店 ・目標 1,800本完売!	恵庭市役所「駐車場」
	9月8日(日)	市内中学校 第9回「手づくり木工教室」開催(*共催事業) ・市内中学生を対象とした「手づくり木工教室」を開催します。 ・「2×4ベンチ」の製作を行い、ものづくりの楽しみを実感してもらうとともに、建築士会の地域貢献事業の一環として、「木工体験学習」を実施します。	恵庭市職業訓練センター 1階「実習場」
石狩	6月中旬	バスツアー視察(厚真町被災地の建築物等)	厚真町内
函館	6月28日(金)	第32回チャリティ「ビア&ダンスの夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールするとともに収益金の一部を社会福祉・まちづくり関係団体等に寄付	ホテル函館ロイヤル
桧山	7月7日(日)	第40回全道北前船競漕大会 ・チーム名、建築士会桧山支部として参加します。 ・優勝賞金10万円でタイムを競う船漕ぎレース。(会員から漕ぎ8名・舵取り1名・ドラ1名を選抜)応援会員とレース終了後に慰労会を行います。	江差町かもめ島 江差港南埠頭
小樽	7月上旬	市内の幼稚園(1箇所)に木工品を寄贈し、園児と一緒に組み立てや塗装の作業を実施 建築士会の活動についてPRするため、ポスターの展示など実施	小樽市
後志	7月上旬	地域に貢献できること、または、会員相互の交流ができる事業内容を検討中	
岩内	6月29日(土)	第16回 DIY体験会	未定
室蘭	8月3日(土)	親睦ビアパーティー ・会員の懇親を深める為、ビンゴ大会・抽選会・ゲーム等開催	ログハウスレストラン ビアキャビン
	9月22日(日)	支部視察研修会 ・会員の資質の向上と会員の親交を深めるのを目的として	未定

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
苫小牧	7月上旬	地域貢献活動として道路の清掃ボランティアと施設見学会・パークゴルフ大会の予定 ・会員30名程度が参加予定で、今年度は白老町を会場として実施予定	白老町
空知	7月上旬	第29回建築士の集いビールパーティー	滝川 ホテルスエヒロ
北空知	8月予定	第35回建築士と仲間の集い 青年部（パネル展）	未定
留萌	7月上旬	第44回社会奉仕資金造成ビアパーティー	留萌産業会館 （予定）
旭川	7月1日(月)	建築士賞の表彰 ・支部管内において良好な都市環境づくり、人にやさしい住環境づくりをとおして、北国の快適で豊かな街づくりに寄与し、顕著な功績があった個人・団体を 選考し表彰 第31回チャリティービールパーティー ・寄付金の寄贈、アトラクション、抽選会	トーヨーホテル 2階
士別	7月1日(月)	建築士の日ビールパーティー ・パネル展示 ・抽選会等	士別グランドホテル
富良野	6月29日(土)	第31回「建築士の日」親睦ビールパーティー	アトリウム タマリーバ
上富良野	7月上旬	「建築士の日」ビールパーティー ・士会と町民との交流及び活動のPRを目的。	上富良野町公民館
名寄	6月予定	支部交流のジギスカンパーティー	名寄駅前交流センター「なよろーな」
十勝	7月28日(日)	【7月1日建築士の日】第14回オビヒロホコテンにブース出展する。 ・木工作ブースでは、子ども達や一般の方に「ものづくり」の楽しさや興味を持ってもらう。古建築ブースでは、調査結果の展示を通じて建築士会の活動、活動に携わる、建築士の資格や業務について市民への広報活動の場とする。	帯広市歩行者天国 エリア
釧路	8月上旬	第31回「建築士の日」建築士会ビールパーティー	釧路センチュリー キャッスルホテル
根室	7月予定	焼肉懇親会	明治公園
中標津	7月予定	第24回建築士の日記念事業・会員交流会	別海町
網走	6月予定	第25回親睦ビールパーティー及び高齢者施設慰問支援活動	網走市民会館
北見	7月6日(土)	(一社)北海道建築士会北見支部ビールパーティー	北見経済センター
紋別	7月初旬	第20回支部長杯パークゴルフコンペ「まきばの広場パークゴルフ場」	紋別市
宗谷	7月予定 7月5日(金)	建築のお仕事体験イベント 北門神社例大祭神輿渡御	稚内市

全国大会でも号外を!!



情報委員会

委員長 齋藤 勝哉 (旭川支部)

10連休という、驚くようなゴールデンウィークと共に平成も終わり、令和が始まりました。皆様は連休を有意義に過ごせたでしょうか？私はと言いますと、有難いことではあるのですが、2日ほど休日が取れただけで、ほぼいつもの週と変わらないような忙しい日々を過ごさせていただきました。

我々、情報委員会は毎月肅々と会誌の編集・校正作業を行っています。執筆時点では、まだ委員会を開催しておりません。予定では5/25となっており、この号が手元に届くころには、無事に終わっていることと思います。

さて、皆様もご存知の通り、全国大会が近づいて参りました。この大会では、全道大会で恒例となるところある、『北海道建築士 号外』を全国大会の場でも発行することとなりました。

全道大会でのノウハウを生かして…といたいところなのですが、勝手にまったく違うのでどうなるかは未知の手探り状態となることでしょう。

ネタばらしをしてしまうと、全道大会では、午後からの分科会ということもありますので、各委員会から事前に資料をもらって原稿をある程度作ってから大会に臨んでいます。当日は微修正程度になるようにして時短を図っているわけですが、全国大会では事前の連絡が執りにくいため、すべて当日の作業になるのではないかと考えています。ということは、全て時間に追われることを想定していないといけないうわけで…担当者には相当な負担をかけてしまうことになるかも知れませんね。

印刷数量も大交流会での参加者の想定が1,000名ということもあり、全道大会での発行数量の3倍規模となります。現時点で、印刷方法も含め検討中ではありますが、いつもよりも厳しい状況になることが予想されます。

最善を尽くせるように、しっかりと準備していかなければなりません。どうしてもイレギュラーは起こってしまうものですので、それすらも楽しめる余裕をもてたら良いのですが。

ともあれ、これから開催までの期間は一気に進んでいくことと思います。会員の皆様の協力が何よりの力となりますので、なにとぞ力添えをお願いしたいと思います。

応急危険度判定士が活動できる環境に向けて



被災地応急支援委員会

委員 谷内 正則 (函館支部)

胆振東部地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、被災地応急支援委員となり、この1年間の委員会活動について報告します。被災地応急支援委員会（以下委員会という）では、平成28年に名称を変えて、行政だけの応急危険度判定ではなく、より一層の官民共同の体制を確立し、民間の力を活用できる応急危険度判定の仕組み作りと、建築士会として被災地への支援について、いろいろな活動をしてきました。応急危険度判定士とは、大地震などにより被災した建築物を調べ、その後の余震などによる倒壊の危険性などの判定を行うことのできる資格を持った人です。災害発生時には、北海道や各市町村と協力し、委員会が、その判定士にいち早く判定要請や判定活動があるのかなどの情報を流し、被災地での判定活動に参加できるかを確認し、判定体制を組まなければなりません。その仕組みとして、委員会では、「被災地応急支援ネットワーク」を作りました。応急危険度判定士の資格を持っている皆様は、北海道建築士会のホームページより、ぜひこのネットワークに登録をお願いします。また、行政には、災害時に判定要請があった場合、委員会が迅速かつ的確に対応でき、判定士の支援活動を行うことができるよう、各市町村と協定を結ぶ活動も行っております。災害はいつ何時起こるか分かりません。その準備が必要です。応急危険度判定士の資格は、5年に一度講習会に参加をすると更新できますが、判定実施には不安があるのではと考え、委員会では、応急危険度判定士に求められるスキルアップやこれから判定士の登録を考えている方への基礎知識を高めるために、様々な地域に出向いて、写真パネルを用いた机上訓練(DIG)を開催しています。その他に、災害時に応急危険度判定士や関係機関との連絡調整を行うコーディネーターの人材育成を目的とした、被災建築物応急危険度判定コーディネーター研修会も開催しています。

任期も残すところ1年間となりますが、応急危険度判定士が災害時にスムーズに活動できる体制づくりや学習する場の提供を今後も続けていきたいと考えています。一人でも多くの建築士が、応急危険度判定士へ登録し、被災地応急支援ネットワークにも登録いただくと、災害時に建築士会としてより多くの方々のお役に立てると思います。皆様のご協力をお願いします。

斜里支部

地域に根差した活動を目指して

支部長
原 健治



斜里支部では、毎年8月に斜里町商工観光会主催の『楽市・楽座』という夏のイベントに参加しております。イベントの内容は道の駅にて、地元の飲食店や団体が屋台形式で露店を出店したり、地元バンドの演奏や、大縄跳びなどさまざまな催しを行っています。

我が建築士会斜里支部では、地場産の食材を使用した窯焼きピザを販売しております。本格窯で、焼きたてを提供して大変評判がよく、ぜひ皆様も機会があれば来町

お願いします。

昨年度は児童館にて巣箱手作り教室を行い、児童たちと一緒に巣箱制作を行いました。

又、斜里町来運地区にある来運神社の絵馬掛け所の更新事業など、様々な地域貢献活動を行っています。

このような事業を通じて、地域の方々と親睦を図り、建築士会の活動を少しでも理解して頂けるよう取り組んでおります。

昨年5月には、青年建築士の集いを斜里町ウトロで開催する運びとなり、会員一丸となり準備・設営等とても良い機会を与えて頂きました。

斜里支部も、会員数が少ないですが、毎年できる限りの活動を行い会員相互間の親睦も含め、地域に根差した活動を目指し取り組んで行きたいと思っております。



来運神社絵馬掛け所更新事業 (H30.6.30撮)

宗谷支部

宗谷支部65周年記念事業

支部長
片山 徹也



平成30年は節目の年でした。

宗谷支部は、昭和27年3月に「稚内地区建築士協会」として発足し、昭和37年に「北海道建築士会稚内支部」に改称されました。

諸先輩の努力により設立された歴史ある支部でございます。

この伝統の元、今後も益々発展しなければならないと考えている次第です。

昨年は、この節目を記念し桜の植樹を稚内市の歴史的建造物である恵北の旧海軍の送信所跡地「稚内赤れんが通信所」に10月13日秋

晴れの中、会員が集合し植樹を行いました。

青年部で毎年開催しているビールパーティも昨年30回目の節目を迎えました。7月5日の北門神社例大祭神輿渡御も建築士会活動の「地域貢献事業」と「建築士の日事業」の一環として毎年参加しており青年部で長く続けている事業です。

「継続は力なり」

私は、地域に根ざした建築士会活動を展開し、地域社会や人(市民)との繋がりを大切にして社会貢献活動を微力ではございますが進めて参りました。①建築士の職能を生かした社会貢献の推進 ②会員相互の親睦・交流及び会員増

強を図り、組織の充実 ③建築士の知識の向上、資質の向上などの3本柱で建築士会活動を会員の協力の元、尚一層推進させ努力してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。



65周年記念植樹 (H30.10.3撮)

東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介



株式会社 濱建

(札幌市中央区)

代表取締役
濱野 充史



15代目理事長を私が仰せつかっております。

特に建築防水の分野では数多くの工事実績は基より、国土交通省(旧建設省)や日本建築学会等の諮問や技術要求にも応えて参りました。

当社に於きましては大正12年の創業の道内最古参で、ほぼ一世紀に渡り在来工法の瀝青防水を始め、全ての高分子系工法を駆使して参りました。地下鉄やアンダーパス等のインフラに加え、札幌ドームや札幌ファクトリー等の建築施工実績は、そのまま当社の矜持でもあります。

今後は社会要求である環境対応かつ高耐久長寿命化にお応えして参る所存です。

TEL: 011-261-5676

ナカイチ防水 株式会社

(釧路市鳥取)

代表取締役
中林 康紀



弊社は平成13年に設立して以来、現在に至るまで釧路市近郊の防水工事を行って参りました。防水工事には、数多くの材料と工法があります。アスファルト防水・塗膜防水・シート防水に分類されますが、なかでも弊社が得意としているのはアスファルト防水になります。アスファルト防水は防水工法の中でも最も歴史が古く、最も信頼される防水工法と信じております。歴史ある防水工法と、今まで培ってきた防水技術を活かし、最上の防水層を形成する事を心がけております。これからも、東西アスファルト事業協同組合の一員として防水工事を通じ、社会に貢献出来る企業であるために精進して参ります。また、皆様の日常業務の一助となれましたら幸いに存じます。

社員: 8名

TEL: 0154-51-0886

CPD認定プログラム(5月認定)

◆2019年度北海道ヘリテージ・マネジメント 専門職(第五期)育成講座

〈日程及び会場〉令和元年6月22日(土) 13:00~18:30
かでの2.7(札幌市) 他全13回
〈単位数〉2単位~7単位
〈問合せ先〉北海道文化遺産活用活性化実行委員会
Tel. 011-271-4220

講習会のご案内

監理技術者講習

6月19日(水) 札幌市 6月20日(木) 旭川市

第1期建築士定期講習

6月5日(水) 札幌市 6月18日(火) 旭川市
6月26日(水) 北斗市

既存住宅状況調査技術者講習

新規: 6月12日(水) 札幌市
6月13日(木) 北斗市
6月14日(金) 旭川市
移行: 6月21日(金) 札幌市

講習会のお申込み・詳細は(一社)北海道建築士会
HPをご覧ください。

事務局からのお知らせ

図書販売終了

建築基準法講習会に使用しましたテキスト「実務
に役立つ建築法規解説2018」は完売いたしましたの
で販売は終了しております。

会費納入のお願い

平成31年会費納入は、平成31年3月31日が期限と
なっております。会費を納入いただけない場合は、
7月号会誌を停止いたします。(納入されるまでの間)
ご不明な点がございましたらお手数ですが本部事務
局までお問合せください。
北海道建築士会 011-251-6076

編集後記

今年のGW、巷では10連休と賑わっておりいつもより遠く
に足を延ばされた方が多かったように思われます。よく働き、
よく遊ぶことで、仕事、私生活、土会活動によりよい効果が生
まれるとよいですね。今月号は「建築士の日」支部事業が掲載
され、各支部による会員相互の親睦、研鑽、地域貢献など様々
な事業が企画されています。よりよい効果で新たな支部事業の
活性化になることを願っております。

情報委員会 前田 繁

道士会の動き

道本部の主な会議報告(5月)

◆四役会議

〈開催日〉5月8日(水)
〈議題〉1) 令和元年第2回理事会について

◆第2回理事会

〈開催日〉5月17日(金)
〈議題〉※すべて承認済み
1) 令和元年一般会計事業報告及び収支状
況報告(3月末)
2) 令和元年特別会計事業報告及び収支状
況報告(3月末)
3) 令和元年全国大会特別会計事業報告及
び収支状況報告(3月末)
4) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推
薦者(案)
5) 継続的な能力の開発の促進に関する規
則に基づくプログラム審査評議会及び
専攻建築士審査評議会評議員の委嘱(案)
6) 北海道建築士事務所協会からの事務所
移転の申出
7) 改元に伴う事務処理上の取扱い
8) 平成31年会費未納者の会誌送付停止(案)
9) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

◆第1回情報委員会

〈開催日〉5月25日(土)
〈議題〉1) 会誌「北海道建築士」
(7月以降の掲載記事検討) 他

◆まちづくり委員会WEB会議

〈開催日〉5月25日(土)
〈議題〉1) まちづくりフォーラムについて 他

道本部の主な行事予定(6月)

1日(土) 支部長・事務局長合同会議及びブロッ
ク会議
8日(土) 第11回全国大会実行委員会
15日(土) 青年委員会 建築士の日イベント

関係機関等会議参加予定(6月)

6日(木) 建築技術教育普及センター理事会(東京)
20日(木) 日本建築士会連合会通常総会(々)
24日(月) 建設系CPD協議会運営委員会(々)
すべて高野会長出席

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.262号

印刷 令和元年5月/発行 令和元年6月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番